



東京都知事

件 添 要 一 様

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面への延伸について  
(要望)

平成26年5月9日

東 大 和 市

武 蔵 村 山 市

瑞 穂 町

## 多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面への延伸について（要望）

新緑の候、貴職におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃、東大和市、武蔵村山市及び瑞穂町の行政運営につきまして、特段の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。また、このたび、多摩島しょ振興担当副知事を創設していただいたことに深く感謝の意を表するとともに、多摩地域全体の活性化に寄与されるものと大きな期待を寄せております。

さて、多摩都市モノレールにつきましては、平成25年度の中間決算において、1日平均乗客数が13万人を超えたほか、運輸収入についても、平成12年の開業以来、上半期実績の過去最高を更新しました。また、日頃から沿線地域と連携したスタンプラリーを積極的に実施するなど、地域住民にとって親しみがあり、かつ、重要な交通機関として定着しております。

そのような中、平成12年の運輸政策審議会答申第18号において、「2015年までに整備着手することが適当である路線」に位置付けられている上北台から箱根ヶ崎間の沿線に存する東大和市、武蔵村山市及び瑞穂町では、自立した都市として持続的な発展を図るために、東大和市における地区計画の検討や武蔵村山市における都市核土地地区画整理事業の施行、新青梅街

道沿道まちづくり計画の策定、瑞穂町における殿ヶ谷土地区画  
整理事業など新青梅街道沿道のまちづくりに積極的に取り組  
んでいるところであります。

今後、低炭素型都市構造の構築や来るべき超高齢社会におけ  
る高齢者の移動手段の確保等を図り、地域活力の向上を目指し  
たまちづくりを推進していくためには、軌道系公共交通の整備  
が必要不可欠と考えます。

沿道市町においては、商業をはじめ医療、文化及び交流など  
都市の枢要な機能が発揮されるようまちづくりと一体となっ  
た地域公共交通の再編を視野に入れつつ、モノレール延伸に向  
けた地域環境を整えておりますので、東京都におかれましても、  
多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸に向け、最大限の努力に  
より、1日も早く事業化を図られることを要望いたします。

平成26年5月9日

東大和市長 尾崎 保夫



武蔵村山市長 藤野 勝



瑞穂町長 石塚 幸右衛門

